

## 学校の部活動に係る活動方針

静岡県立天竜高等学校

### 1 部活動の意義

#### (1) 「静岡県部活動ガイドライン」による部活動の意義

- ◆部活動が生徒の人格形成に大きく寄与しており、日本の学校文化の中できわめて重要な役割を果たしてきていること
- ◆より高い水準や記録に挑戦したいという人間の本源的な欲求に応え、爽快感、達成感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすという内在的な価値を有していること
- ◆生徒が異年齢集団に属し、仲間や教員等との密接な関わりを通して、社会性を育むことができる点で大切な役割を担っていること
- ◆目標達成に向かって互いに励まし合い、高め合う営みは、他者の多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にし、よりよい社会づくりに参画する「有徳の人」の育成に資するものであること

#### (2) 本校における部活動の意義

本校は、「地域の自然と文化を愛し、地域の発展に貢献することができる人材を育成するとともに、自らの目標に向かって粘り強く努力し、未来を切り拓くことのできる人材を育成する。」という教育目標を掲げ、「地域の発展に貢献することができる人材」、「目標に向けて努力することができる人材」の育成を目指している。本校では、その実現に向けて、8項目からなる「生徒が付けたい力」を掲げている。本校における部活動の意義は、活動を通じてこれらの力を伸ばすことにある。

##### 【生徒が付けたい力】

理解力	書かれたものや話されたことを理解する力
学力	高校生として必要な学力
リスペクト	自分や人を大切にする力
チームワーク	組織の一員として協働する力
自律	自分をコントロールする力
コミュニケーション力	自分の考えを伝える力
向上心	目標を持ち、意欲的に努力する力
適応力	様々な状況に適応する力

### 2 本校における部活動活動方針

#### (1) 活動目標

- ア 仲間や教員とともに活動することで、自分や人を大切にする力、組織の一員として協働する力を育てる。(リスペクト、チームワーク)
- イ 仲間や教員との関わりを通じて、相手の考えを理解する力、自分の考えを伝える力を育てる。(理解力、コミュニケーション力)

- ウ 大会やコンクール等への参加を通して、自分をコントロールする力、目標に向かって努力する力、様々な状況に適応する力を育てる。(自律、向上心、適応力)
- エ 生徒や教員が、家族と過ごしたり自己を研鑽したりする時間を十分確保できるよう、効率の良い活動に努める。

## (2) 成果目標

- ア 「部活動に一生懸命取り組んでいる」と答える生徒の割合：80%以上
- イ 各部活動が年度当初に設定した目標を達成する部活動の割合：70%以上

## (3) 目標達成のための具体的な取組

### ア 部活動検討委員会の設置

◇構成員：教頭、生徒課長、進路課長、生徒課部活動担当教員  
運動部代表、文化部代表、各学年主任

◇検討内容：・「学校の部活動に係る活動方針」の検証と見直し  
・適切な部活動の設置と顧問の配置  
・指導経験が少ない部活動顧問に対する支援  
・外部指導者の効率的な活用  
・生徒の主体的な活動参加を促す取組  
・指導者の資質向上、体罰の根絶、事故防止に向けた研修の企画と実施

### イ 生徒部長会の設置

◇構成員：各部の部長

◇検討内容：・主体的な活動への取組  
・部室や活動場所の環境整備、美化  
・地域への貢献活動（クリーンボランティア等）の検討、実施

### ウ 部活動休養日及び活動時間の設定

◇活動日：週2日の休養日を設け、そのうちの1日は週休日（学校の休業日）とすることが望ましい。

※各部の実状に応じて運用できることとするが、年間を通じて100日程度の休養日を設け、そのうちの半分程度を週休日（学校の休業日を含む）とするよう努める。

◇活動時間：平日（学校課業日）の活動時間は長くとも3時間程度、週休日（学校の休業日）は4時間程度が望ましい。

### エ 定期テスト前の部活動の自粛

◇定期テスト1週間前から、部活動自粛期間とする。

※公式戦（準公式戦）を控える部については、テスト前部活動許可願の提出により、活動を許可する。その場合の活動時間は1～2時間程度とし、効率の良い活動に努める。

### オ 部活動に係る活動計画の作成と公表

◇年間活動計画・・・年度当初に、年間の大会や遠征等の計画と年度の目標を設定

◇月間活動計画・・・前月の月末までに、各月の活動計画を設定

※各計画については、各部の顧問から生徒及び保護者に情報提供する。